

あたたかなつながりを実感できる、みんなが主役のまちづくり

第三次高島市地域福祉推進計画 2021-2025

参

さあ、みんなで参加しよう！



1. 策定にあたって

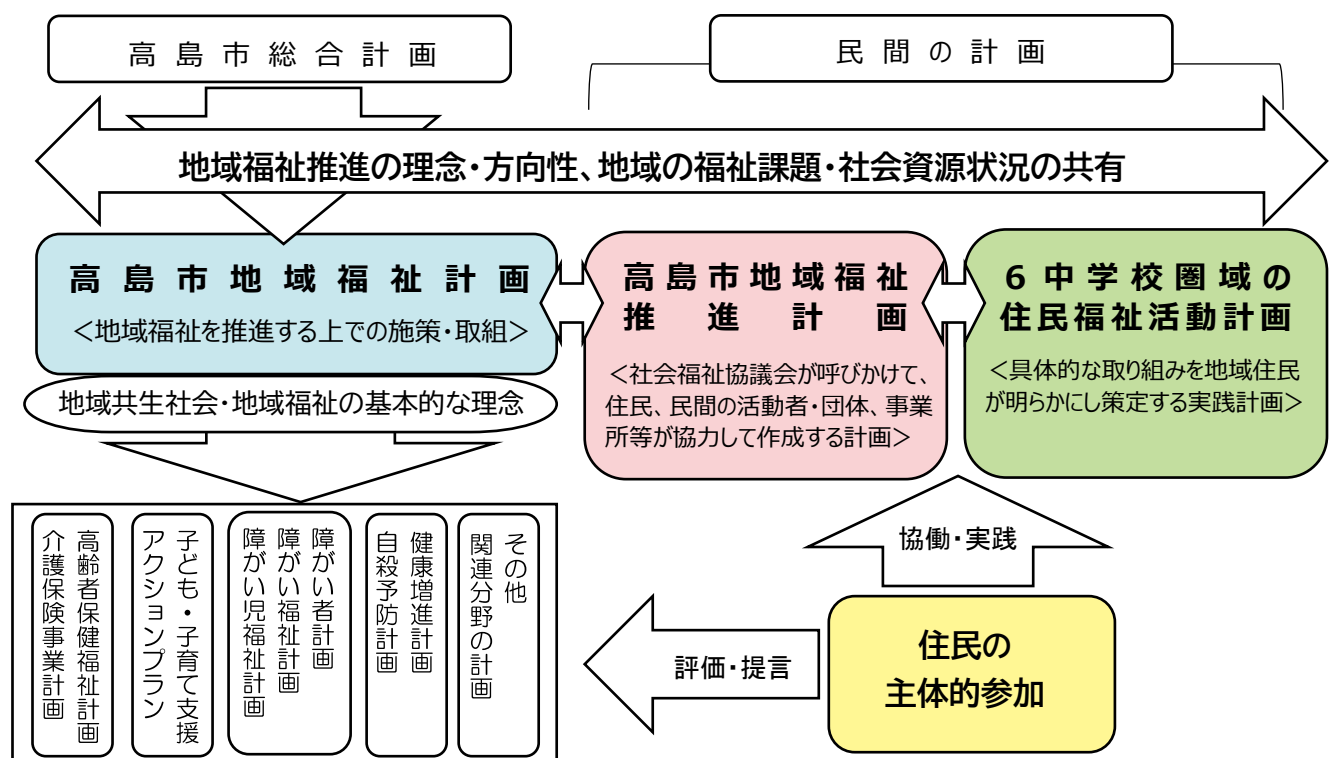
- ・人口減少や少子高齢化が進んでおり、担い手の不足から集落機能の維持が困難になるなど、支え合い暮らし続けていくためのコミュニティの基盤の弱体化が進行しています。
- ・世帯の単身化や、家族や親族や地域のつながりが希薄化するなか孤立が進み、ゴミ出し等生活上の小さな困り事から通院や買い物等の移動手段の確保の問題まで、暮らしの中の困りごとが多様化してきています。
- ・若者、高齢者、障がい者や子育て世帯等あらゆる世帯に貧困や孤立の問題が広がっており、生活困窮・社会的孤立への対策が求められています。
- ・後期高齢者数がピークを迎える「2025 年問題」では、要介護者や認知症の増加に伴う、医療や介護サービスの体制整備をはじめ、住み慣れた地域で最後まで暮らし続けていけるよう仕組みづくりを進めていくことが急務です。
- ・風水害や地震等の災害が頻発しており、災害にもつよい支え合いのある地域づくりを進める必要があります。

2. 計画の目的

「地域福祉推進計画」と6中学校圏域の住民福祉協議会の「住民福祉活動計画」は、私たちの暮らす高島市が、高齢になっても障がいがあっても、子どもから高齢者まで、誰もがいつまでも安心して暮らし続けることができるまちであるために、一人ひとり、また地域全体でどのような取り組みが必要かを民間（住民、当事者や社協、福祉事業所など）が中心となって計画し、住民参加、官民協働で取り組んでいくことを目的としています。

3. 計画の位置づけ

「地域福祉推進計画」と6中学校圏域の住民福祉協議会の「住民福祉活動計画」は、市の「地域福祉計画」と連携しつつ、民間（住民、当事者や社協、福祉事業所など）の立場から、具体的に地域福祉の推進を計画的に進めるための住民参加による行動計画です。



4. 地域福祉目標（地域福祉のビジョン）

「あたたかなつながりを実感できる、みんなが主役のまちづくり」

- 第1次・第2次高島市地域福祉推進計画の地域福祉目標を継承します。
- 第1次計画では、見守りネットワーク活動や住民福祉協議会など多様な住民、関係機関・団体等のネットワークや取り組みが生まれ、第2次計画では、生活困窮者支援の取り組みを契機に、専門職同士のネットワークの構築や官民協働の取り組みを進めました。
- 第3次計画では、住民主体の取り組みと専門職の取り組みをあらゆる圏域・場面で連携させ、住民と専門職の協働による「まちづくり」を進めていきます。

5. 計画を推進する3つの視点

1 住民の参加の促進

あらゆる立場の住民が、どこかに参加できる場を多様に作っていくことが必要です。どのような取組においても「住民の参加を促進」させていく事を共通の視点として掲げます。

2 住民と専門職の協働

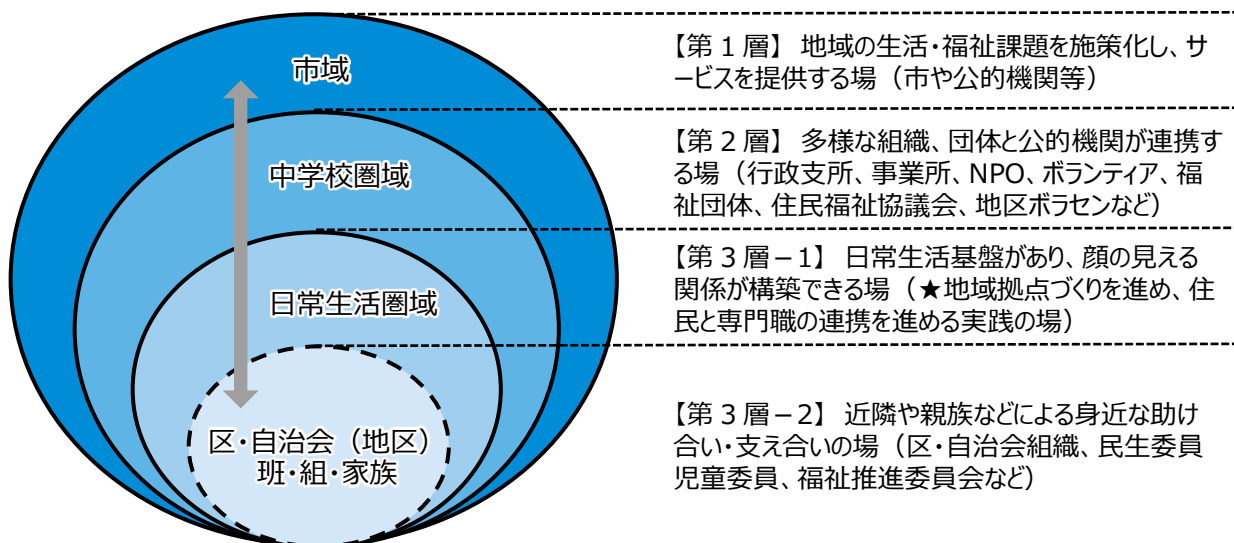
住民主体の取り組みと専門職の取り組みを重ね合わせて、官民協働による計画の推進を図ります。住民主体の取り組みに専門職がいかに寄り添い協働できるかが計画推進のポイントです。

3 地域拠点づくり

日常生活圏域における地域福祉を推進する拠点づくりに取り組み、拠点において「住民と専門職が協働」し、多様な「住民の参加の促進」が図られるよう取り組んでいきます。

6. 圏域設定

地域のとらえ方 ～地域福祉を推進する重層的な圏域の設定～



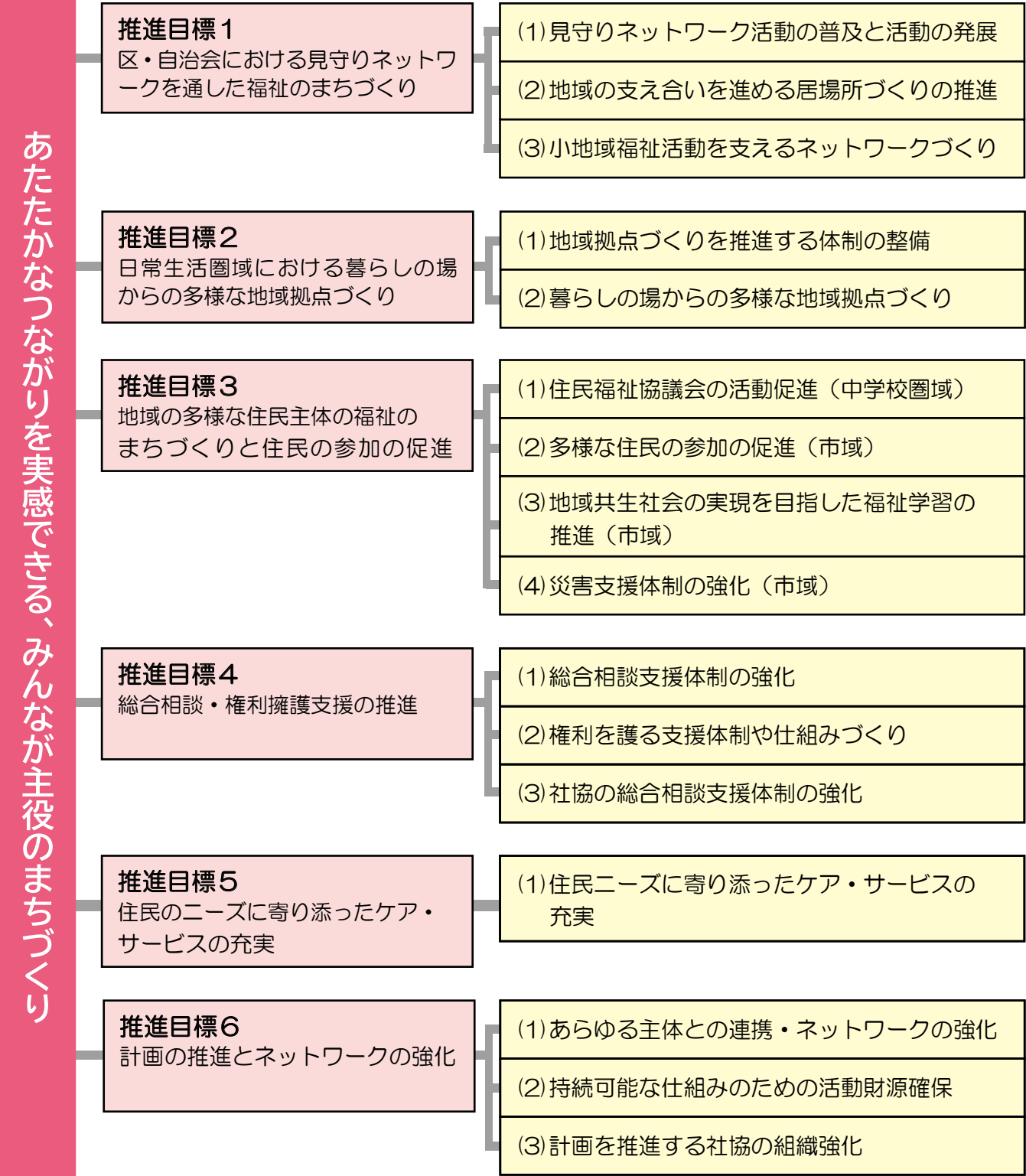
7. 計画の総合体系図

この計画は、計画の理念である地域福祉目標の実現を目指して、この5年間で推進すべき「推進目標」と具体的に取り組んでいく「活動項目」「活動事業」で構成しています。

地域福祉
目 標

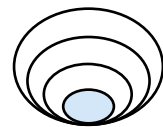
推進目標

活動項目



※「活動事業」は次頁以降に掲載

推進目標 1 : 区・自治会における見守りネットワークを 通した福祉のまちづくり



区・自治会域

見守りネットワーク活動の活性化を図るとともに、住民主体の取り組みに多様な専門職が参加していくことをさらに進めます。また自治会のない地域や人口減少が進む山間集落など、どのような環境においても安心して暮らしていくことができる「つながりづくり」を進めていきます。

【重点取組】

1. 見守りネットワーク活動の活性化による住民と専門職の協働を進めます

推進する事業や取組：福祉推進委員会の組織化支援、くらし連携会議との連携、見守りネットワーク事業との連携、見守りネットワーク活動推進会議 等



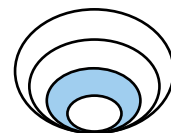
2. 地域の支えあいを進める多機能な居場所づくりを進めます

推進する事業や取組：「つどい見守り情報交換会（仮）」の開催、キャラバン隊による出張相談の開催等

3. 小地域福祉活動を支えるネットワークづくりを進めます

推進する事業や取組：山間過疎集落支援にかかるネットワーク構築の検討、たかしまワークキャンプ（大学との連携）、セーフティネット連絡会 等

推進目標 2 : 日常生活圏域における暮らしの場からの 多様な地域拠点づくり



日常生活

普段の暮らしの場に近い圏域で「交流」「活動」「相談」「ケア」の機能を持った拠点づくりを進めます。拠点づくりを具体的に進める協議の場づくりを多様な関係者の参加のもと進めます。

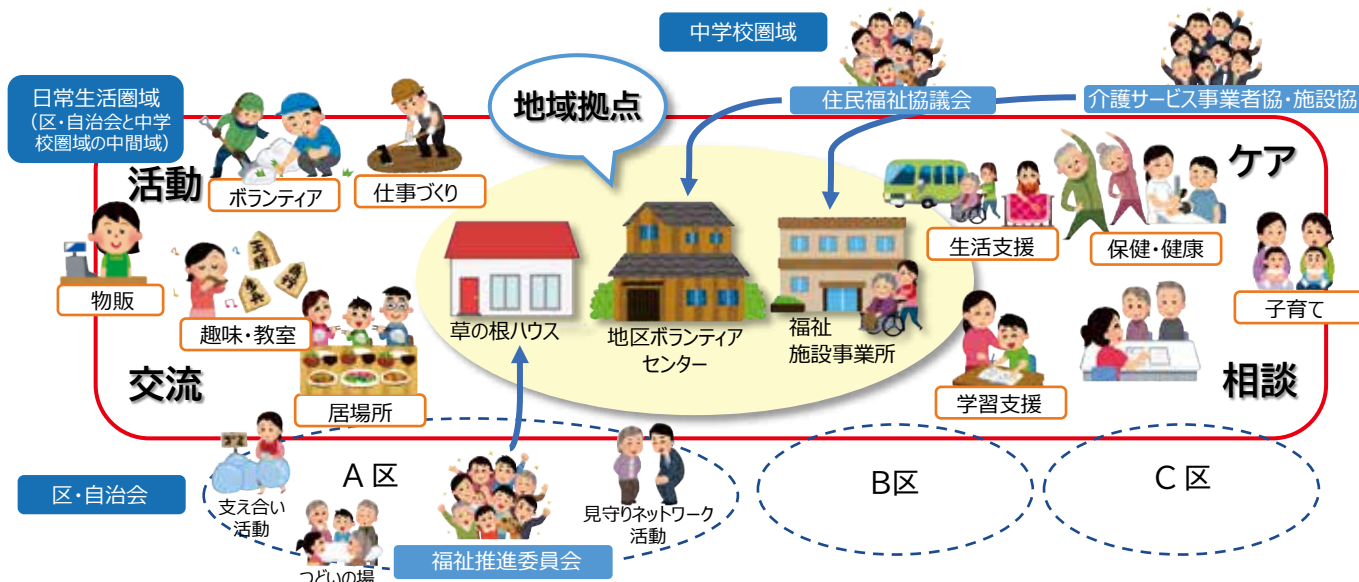
【重点取組】

1. 地域拠点づくりを進める体制について検討していきます

推進する事業や取組：「地域拠点づくり推進会議（仮）」の設置、「地域拠点づくりの手引き」の作成 等

2. 暮らしの場からの多様な地域拠点づくりを進めます

推進する事業や取組：「集落居場所型」「地区ボランティアセンター・市民活動型」「施設・事業所の社会貢献型」などの多様な地域拠点づくり、福祉推進委員会、住民福祉協議会、介護サービス事業者協議会や高島市福祉施設協議会との連携 等



推進目標 3 : 地域の多様な住民主体の福祉のまちづくりと 住民の参加の促進



住民福祉協議会が策定した民間の計画である「住民福祉活動計画」に基づく多様な取組みとネットワークづくり推進するとともに、住民と専門職の協働の場面である「セーフティネット連絡会」の活性化を図り、中学校圏域ごとの支え合いの取組み活動をさらに充実させていきます。

また、市域では一人一人の主体性を発揮できる参加の場づくりを行い、自分らしく地域で暮らすことが実現できるよう、地域における全世代型の福祉学習の推進を図ります。

【重点取組】

1. 住民福祉協議会の取組みを促進すると共に、専門職との協働場面を作っていきます

推進する事業や取組み：地区ボランティアセンターコーディネーター学習会、出張地区ボランティアセンターの推進、「つどい見守り情報交換会（仮称）」の開催、セーフティネット連絡会の開催、住民自治協議会との連携 等

2. 多様性を認め合い、それぞれの主体性を発揮できるような参加の機会と地域とつながる場の促進を図ります

推進する事業や取組：子育て支援関係機関との情報交換や意見交換の場づくり、子ども食堂との連携、当事者グループの協議の場への参加とニーズ把握、NPO や学校・企業と協働できるプログラムの検討、地域学校協働活動との連携・協働、ワークキャンプの開催等の大学との連携・協働 等

3. 自分らしい暮らしの実現のために「共に生きる力」を育む基盤を作っていきます

推進する事業や取組み：福祉学習の実施、「福祉学習プログラム研究会（仮称）」の実施、ふくしの出前講座、住民福祉協議会が実施する出張ボラセン、出張ワンコインカフェ、住民福祉こんだん会の実施 等

4. 地域防災・減災力の強化、災害ボランティア体制のさらなる推進に取り組みます

推進する事業や取組み：災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの作成、災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施、高島市災害ボランティア活動連絡協議会との協働、避難行動要配慮者個別支援プラン作りの推進

○住民福祉活動計画

第3次住民福祉活動計画（2020～2024 年度）は、第二次計画で話し合ったビジョンの理念、方向性を踏襲しながらも、現代の地域課題に即した活動を自分たちの手で生み出していこうという意思のもとで、それぞれの住民福祉協議会が協議を重ね、新たな 5 年の計画として策定されました。



マキノ

今津

朽木

安曇川

高島

新旭

推進目標 4 : 総合相談・権利擁護支援の推進



様々な困りごとを漏らさず受け止めていけるよう、相談支援機関・関係機関の連携強化を図り、総合的に対応する体制づくりを進めます。

一人暮らしになっても安心して暮らしていけるよう、必要なサポートのあり方を研究し新たな仕組みづくりについて関係機関と検討していきます。



【重点取組】

1. 関係機関と連携し、総合的に相談を受け止め対応する体制づくりを進めます

推進する事業や取組：分野別相談支援センター連絡会の組織化、相談窓口職員連絡会、地域の身近な相談窓口として市内福祉施設・事業所への「よろず相談窓口」の設置の推進 等

2. 生活困窮や社会的孤立の問題に取り組んでいきます

推進する事業や取組：「つながり応援センターよろず」の運営、高島市なんでも相談会の開催 等

3. 一人暮らしや高齢者世帯でも安心して暮らしていける仕組みを検討していきます

推進する事業や取組：高島市成年後見サポートセンターの運営、終活サポートのあり方研究 等

推進目標 5 : 住民ニーズに寄り添ったケア・サービスの充実



関係機関と連携しながら、変化するニーズに対応できるケアやサービスのあり方や在宅生活を支える仕組みを検討していきます。

【重点取組】

1. ニーズの把握と新たな仕組みについて検討していきます

推進する事業や取組：社協内地域生活支援会議の開催、終活サポートのあり方研究（再掲）

2. ニーズを形にする事業所間連携の促進します

推進する事業や取組：介護サービス事業者協議会や高島市福祉施設協議会との連携

推進目標 6 : 計画の推進とネットワークの強化



計画の推進のため、あらゆる主体や関係機関とのネットワークを広げていきます。また、地域福祉活動の財源の確保の手法について検討していきます。

【重点取組】

1. あらゆる主体との連携・ネットワークを強化します

推進する事業や取組：NPO や学校・企業、社会福祉法人、行政施策との連携の推進 等

2. 持続可能な仕組みのための活動財源の確保について検討していきます

推進する事業や取組：赤い羽根共同募金との連携の強化と活性化、ファンドレイジングの推進 等

第三次地域福祉推進計画策定委員会 委員

(順不同、敬称略)

	氏名	所属等
1	藤井 博志	関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科 教授 ◎委員長
2	古蒔 善助	高島市民生委員児童委員協議会連合会
3	藤木 孝次	高島市障がい者相談支援センターコンパス センター長
4	谷 仙一郎	NPO 法人元気な仲間 代表理事
5	藤澤 克哉	生活協同組合コープしが組織部 西地区運営事務局長
6	坂下 靖子	たかしま市民協働交流センター 事務局長
7	西村 武博	高島市介護サービス事業者協議会 会長
8	七黒 幸太郎	高島市商工会青年部 部長
9	末武 美里	高島市民病院地域医療連携室 室長
10	澤 和記	高島市福祉施設協議会 会長
11	澤 孝彦	高島市共同募金委員会 会長
12	伊吹 初美	マキノぬくもり福祉ネットワーク 代表
13	桂田 敏男	今津ふくしの会 代表
14	海老澤 文代	朽木住民福祉協議会 代表 ○副委員長
15	石黒 徳市	安曇川住民福祉協議会 代表
16	村田 良雄	高島住民福祉協議会 代表
17	藤原 実	新旭住民福祉協議会 代表
18	八木 武	学識経験者（元高島市民生委員児童委員連合会 会長）
19	前川 一善	高島市市民生活部 次長 / 市民協働課 課長
20	大塚 寿彦	高島市健康福祉部社会福祉課 課長
21	小川 祥枝	高島市社会教育課地域教育連携室 室長
22	齊藤 祥子	高島市健康福祉部地域包括支援課 主監
23	高橋 宏和	滋賀県社会福祉協議会地域福祉グループ グループリーダー
24	飯田 清孝	高島市社会福祉協議会 理事（地域福祉担当）

※所属は令和3年3月時点のもの

第三次高島市地域福祉推進計画＜概要版＞

2021(令和3)年3月

発行:社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

〒520-1121 滋賀県高島市勝野 215 番地

電話 0740-36-2001 FAX0740-36-2019